

事例から学ぶ！！

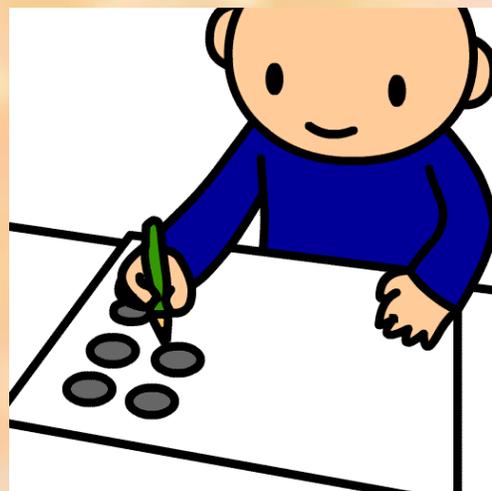
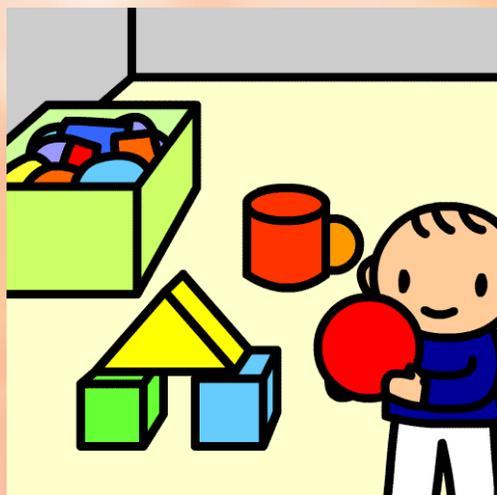
“できる”を引き出す・広げる支援

～その子に適した構造化を使って～

今回のテーマは…

切り替えること

について





好きな遊びから次の活動への切り替え
ができません。タイマーやスケジュール
の活用も上手くいっていません…

ママ



「切り替え」を考える上で…

・何か(活動や気持ち等)を

「切り替える」ためには、

「終わりを知る／作る」

「次には何があるのか」

ということが必要(※本来であれば幼児期の課題)

終わりの概念が
作られにくいのです…



チェックポイント

- ①本人はどのようにして「終わり」を理解していますか？
- ②トランジッションカード(グッズ)は使えますか？

※トランジッションカード(グッズ)

→その日またはその後のスケジュールが確認できる「トランジッションエリア」へ行くことを示すためのカード

アセスメント
してみましょう！



①タイマーやスケジュールカードを提示して
いますが、あまり効果は無く、本人のタイ
ミングを待って終わることが多いです。

②トランジッションカードはまだ使ったことが
ありません。



**アセスメントの
結果から
考えられること！**



「終わり」が作れていない可能性が高い

- ・タイマーやスケジュールを示すことも視覚的な手掛かりにはなるが終わり箱のようなものを使って、「この中に入れたから終わりだよ。」というように、「終わり」自体を視覚的に示していくことも必要。
- ・タイマーやスケジュールから「終わり」や「切り替え」が分かりにくい場合には、一緒に活動しているメンバーで活動の終了や移動を「流れ」として見せる手もある。



切り替えを流れとして見せる

- ①活動時の切り替えが自立している子(スケジュールを使用する等の支援有も含む)から、活動を終わる。
- ②切り替えることが難しい子ども達も、周囲の子が活動場所から自分の教室へ移動したり、活動場所の電気が消えたり等の視覚的な手がかりをキャッチして、活動を終える。

※この流れの場合、周囲の状況を読んでいるだけで、本人が自分で切り替えているわけではない。しかし、単純に言葉かけするだけよりは早く切り替えられる。



「次が楽しみ」だから「切り替えられる」

- ・次の活動が本人にとって「楽しい」、「やってみたい」のように魅力的であれば、切り替えて終わっていきえることは多い。
- ・活動場所だけの提示では、魅力としては弱い。場所と活動内容をセットで明示することで、切り替えやすくなる可能性は高い。

※学校生活を送る上で、「常に楽しい活動が設定できる」というわけではない。しかし、上記のことを念頭に置いて活動を検討していくこともポイントになる。



- **活動や気持ちを切り替えるためには**
「終わりを知る」ことが必要。
- **1, 2回やったところで、終わりや切り**
替えることは身に付かない。
繰り返しの積み重ねが重要！





皆さんいかがでしたか？

1つのことを繰り返し取り組むことは、
子どもも大人も根気が必要になります。。。
簡単なことではありませんが、小さな成長を
一緒に喜びながら、積み重ねていけると
良いですね！！！！

今回のシリーズはここまでです♪これまでの
資料を見て、「こんなんやってみたよ！」が
あれば、ぜひお聞かせください！！